

而陛下ノ萬歳ヲ奉祝ス

三 學校長又ハ首席教員教育ニ關スル 勅語謄本ヲ奉讀ス

四 學校長又ハ首席教員教育ニ關スル 勅語ニ基キ恭シク聖意ノ在ル處ヲ誨告シ又ハ歷代天皇ノ 聖德 鴻業ヲ叙シ若クハ祝日大祭日ノ由來ヲ叙スル等其祝日大祭日ニ相應スル演說ヲ爲ス

五 學校長教員及兒童祝日大祭日ニ相應スル唱歌ヲ合唱ス

第三條 近傍ノ小學校ハ便宜一校ニ集合シテ儀式ヲ行フコトヲ得

### 第三章 移民及海外渡航

◎報告第二十號 (明治十三年三月廿二日)

明治十一年外務省第一號第二號布達ニ依リ海外旅券願工當廳ノ證明ヲ請ハント欲スルモノハ其証明ヲ要スル爲メ當「縣令」宛願書ヲ別ニ正副ニ通製シ郡「戶長」與書証印ヲ要シ旅券願工相添差出スヘシ此段報告ス

◎乙第十一號 (明治十六年一月二十五日)

#### 各郡町村

維新以來北海道ニ移住開墾ニ從事スル者多クハ村落ヲ成シ漸次産業ニ就キ候得共中ニハ失敗流離スル者モ亦不少其景况ヲ視ルニ彼ノ産業ニ就ク者ハ其善ク艱難ニ堪エ百挫不撓ト當初準備ヲ整ヘ方法着實ナルトニ由ル者ニシテ彼ノ失敗流離スル

徒ハ全ク力食ノ念ナク畜ニ官ノ保護ヲ頼ミ世間ノ浮説ヲ信シ北海道ニ往ケハ世計ヲ得ル甚安キ様思想シ準備ヲ爲サス經舉移住スルヲ以テ纔ニ函館ニ着シ既ニ旅費欠乏ヲ來タシ移着後給與可相成金品ノ幾分繰替渡ヲ縣廳工出願スル者有之或ハ着後間モ無ク降雪ニ際シ小屋掛其他非常ノ困難ヲ極メ畜ニ最初ノ目的ヲ達シ得サルノミナラス目下ノ衣食ニ窮シ僅ニ人ノ雇ト爲リテ一時ノ命ヲ繋カントスルモ雪中ハ雇ヲ要スルコト少ナキヲ以テ終ニ凍餒ニ迫ル者有之ニ至ルモ縣廳ニ於テハ明治七年(七月)第二號開拓使布達移住農民給與規則ニ照シ取扱ノ外他ニ救助ノ途無之趣ニ候條自今移住志願者有之節ハ郡「戶長」ニ於テ前段ノ情態ヲ始メ移住後一兩年間ノ衣食餘裕アル者ニ非レハ成業覺束ナク并ニ渡海季節ハ三月ヨリ九月迄ヲ以テ相應ノ時期ナル趣ニ付キ其邊ヲモ篤ト諭示シ先ツ本人ニ於テ先地ノ形勢ヲ探知シ就業ノ目的ヲ確定セシメ然ル後出願致サセ猶本人身元等取調具中可致其筋ノ達照會ノ次第モ有之候ニ付此旨相達候事

◎乙第四十四號 (明治十七年三月十五日)

#### 各郡町村

北海道移住ノ義ニ就テハ豫テ相達置タル次第モ有之候處通常轉籍手續ニ依リ該道移住セシ者有之爾ルニ先地ノ狀形ニ暗ク且移住後ノ準備無之ヨリ目今困難ニ立到候者有之右等本人之輕舉ハ勿論處轉「戶長」ニ在テモ送籍仕渡之際厚ク注意シ取扱方モ可有之慮懇篤不到加之該道繁盛上ニ影響シ不都合不少候ニ就自今該道移住ノ

モノニシ渡航保護出願セス全ク通常送籍手續ニ依リ移任セントスルモノ取扱ノ義ハ昨十六年乙第十一號達ニ準據シ具申可致此旨相達候事

◎告諭 (明治廿五年七月七日)

北米合衆國ニ於テハ千八百八十五年外國人契約労働者移住禁止條例(廿四年六月廿九日官報外報欄内ニ掲載アリ)ヲ發付シ右ニ違犯ノ徒ハ何國人ニ不拘渾テ上陸拒絕ノ處千八百九十一年ニ至リ該條例ノ追加條例(廿四年六月十六日官報外報欄内ニ掲載シマリ)ヲ制定シ契約労働者ノ移住禁止ヲ一層嚴重ニ實施セシ趣然ルニ爾來本邦各府縣下ヨリ陸續渡米セシ者ノ内桑港到着ノ上検査ニ當リ條例違犯ノ廉ヲ以テ上陸ヲ拒絕セラレ空シク歸國セシ者不尠且近來本邦人渡航者ノ數多キヲ以テ其筋ニテハ猶一層嚴重ナル検査ヲ施行シ違犯者ヲ送還セントスルノ狀況アル由是レ蓋シ右等渡米者カ未タ能ク該條例ノ何物タルヲ知ラサルニ起因スルモノニシテ其弊ヤ單ニ渡米者自身カ上陸ヲ禁セラレ莫大ノ旅費ヲ失ヒ進退ニ窮スルノ不幸ニ遭遇スルノミナラス終ニハ之レカ爲メ帝國ノ名譽ヲモ毀傷セラル、ニ至ルノ虞ナシトモ云ヒ難シ就テハ此際渡米志望者ニ於テ第一必要トスル處ハ該條例ノ主旨條項ヲ熟知スルニアリ即チ其要領ヲ擧グレハ白痴瘋癲及貧困者若クハ公共ノ扶助ヲ受ケタル者ヲ始メ直接又ハ間接ニ契約ヲ結ヒ一定ノ給料又ハ就役ノ場所ヲ定メ又ハ其豫約ヲ爲シ或ハ書面口頭ノ勸誘ニ依リ渡來シタル者ハ契約移住者ニ該當ス

ヘキモノト認定シテ上陸ヲ禁セラル、ト等ナリトス依テ此等ノ條項ニ抵觸スルモノハ勿論其他抵觸セサルモノト雖モ確實ノ目的ナキ者ニ於テハ漠然渡航ヲ企テ一身ノ不幸ニ陥リ遂ニ我國體ニモ關係ヲ來スカ如キ不都合ヲ生セサル様注意スヘシ

◎告示第五十三號 (明治廿六年四月廿九日)  
山口縣ニ於テハ來ル五月一日以降朝鮮國行旅券附與方ヲ赤間關警察署ニ取扱ハシムル旨同縣ヨリ通牒アリタリ

各 郡 松山市  
各 町 村

近來清國廈門へ入港ノ我國商船乗組ノ水火夫等彼地ニ上陸シ酩酊ノ餘屢々狼藉ノ舉動ヲ爲スモノアリ幸ニ本邦領事ノ斡旋ニ依リ事端ヲ生スルヲ免レシモ以後如斯舉動ヲナスモノアルハ日清兩國ノ條約ヲ案シ夫々處分可致ニ付豫メ相當ノ取締有之度旨清國政府ヨリ全國駐劄本邦臨時代理公使へ照會有之タル趣外務大臣ノ通牒ニ依リ遞信大臣ヨリ更ニ指示ノ次第モ有之右等ハ日清兩國間ノ交際上ニモ關係ヲ來スヘキニ付獨リ該港ニ止マラス其他ノ各港ニ於テモ前陳ノ如キ舉動無之様彼地ニ航通スル船舶ノ船主船長及重立役員ヲシテ各自本船ノ水火夫等ニ懇篤誠諭ヲ加ヘ夫々取締ヲナスヘキ様訓示スヘシ

○内一第一四號 (明治廿七年四月十八日)  
 近時北海道へ移住スルモノ日々増加スルノ機運ヲ奇貨トシ各地方ヲ徘徊シ小民ヲ  
 甘誘シテ徒手勿卒渡航ノ途ニ上ラシメ渡航ノ後ハ前後モ辨セサル客土ニ放棄シテ  
 着業ノ案内ヲ爲サス移民ヲシテ空シク彷徨セシメ以テ竊ニ不正ノ射利ヲ其間ニ企  
 テ候モノ有之趣今般該道廳ヨリ通牒ノ次第有之右ハ渡航者ノ不幸ハ申迄モナク延  
 テ全道拓殖ノ進路ヲ妨害スル儀ニ付其所轄内人民ニ於テ右等奸徒ノ爲メニ誘惑セ  
 ラレ勿卒渡航ヲ企圖セントスルカ如キモノ無之様豫メ注意スヘシ  
 右内訓ス

郡市長宛

### 第四章 行旅

◎達甲第十八號 (明治廿一年七月十七日)

郡役所「戸長役場」

行旅死亡人並行旅病人取扱手續左ノ通之ヲ定ム

但明治十八年乙第四十一號全年乙第九十四號全年乙第五百五十四號及十九年乙第  
 五十八號達ハ廢止ス  
 右相達ス  
 ・行旅死亡人並行旅病人取扱手續

第一條 引取人ナキ行旅死亡人及重症餓餓ニ迫ル行旅病人アルトキハ左ノ制限ニ  
 據リ假埋葬又ハ救護ヲ爲スヘシ

- 一 埋葬人夫賃 二人 一人ニ付金貳拾錢以內
- 一 棺桶棒繩共 金四拾錢以內
- 一 墓標 金參錢以內
- 一 蠟燭薪共 金八錢以內
- 一 新聞公告料 二回 實費
- 一 醫師診察料 一回金貳拾錢以內
- 一 藥劑 水丸散煎 一日四錢以內
- 一 小屋掛料 頓服藥 一日三錢以內
- 一 小屋掛人夫賃 二人 金參拾錢以內
- 一 小屋掛人夫賃 一人ニ付拾錢以內
- 一 賄料 一日金五錢以內
- 一 看護人 一人 一日金拾錢以內

第二條 行旅病人ニシテ他ニ救護スルモノナク重症餓餓ニ迫ルモノト認ムルルハ  
 所在「戸長」醫師ヲシテ之ヲ診斷セシメ其擱キ難キモノニ限リ一時救護ヲ加ヘ別  
 紙第一號書及診斷書ヲ添ヘ直ニ其引取方ヲ原籍「戸長」ニ照會シ其本籍氏名詳ナ  
 ラサルモノハ救護ヲ了ヘタル日ヨリ十日以內ニ別紙第二號書其他關係書類ヲ添  
 ヘ其費用ヲ申請スヘシ

但診斷書ニハ步行ノ難易經過及豫後等ヲ明記セシムヘシ

第三條 本籍「戸長」ニ於テ引取方ノ照會ヲ受タルルハ速ニ其手續ヲナスヘシ若其家元貧困ニシテ引取ヲ爲シ能ハサルトキハ別紙第三號書及戸籍面寫并關係書類ヲ添ヘ十日以内ニ其處分方ヲ伺出ヘシ

第四條 行旅死亡人取扱規則第一條ノ場合ニ於テ本籍氏名詳ナラサルモノハ同則第三條第四條ノ手續ヲナシ公告滿期後五日以内ニ別紙第二號書ヲ添ヘ其第一號書アルモノハ該書面及關係書類ヲ供ヘ其費用ヲ申請スヘシ  
但公告ハ二回トシ一回一日タルヘシ

第五條 他府縣又ハ縣下他町村ヨリ救護費埋葬費ノ請求ヲ受ケタルモノ家元赤貧ニシテ辨償シ能ハサルルハ別紙第二號及第三號書ハ關係書類ヲ添ヘ二十日以内ニ其費用ヲ申請スヘシ

第六條 行旅死亡人及行旅病人ノ携帶セル幼年者等救護並引取ノ費用家元赤貧ニシテ辨償スルコト能ハス且ツ親戚故舊ノ扶助スルモノナキル其恤救規則ニ該當スルモノハ引取ヲ要セス身元取調書及戸籍面寫等ヲ添ヘ其旨救護地「戸長」ハ照會スヘシ

第七條 救護地「戸長」ニ於テ前條ノ照會ヲ受タルルハ之ヲ調査シ其恤救規則ニ該當スルモノト認ムルルハ關係書類ヲ添ヘ其救助方ヲ申請スヘシ

第八條 前條ノ場合ニ於テ救助米代ニテ不足ヲ生シ増費ヲ要スルルハ其事由金員

等ヲ詳具シ處分ヲ伺出ヘシ其他府縣ノ者ナルルハ直ニ本籍「戸長」ニ請求スヘシ

第九條 本籍氏名詳ナラサルモノ、遺財ニ餘贏アルトキハ別紙第二號書ヲ添ヘ届出ヘシ其保管期限ヲ經過シ尙本籍不詳ノモノハ該金員ヲ上納スヘシ

第十條 病者ニ看護人ヲ付スルハ他ニ方法手段ナク不得已場合ニ限ルヘシ又其疾病全癒ニ至ラサルモ步行ニ堪ヘ生命ニ懸念ナシト認ムルルハ速ニ其救護ヲ止ムヘシ

第十一條 救護又ハ假埋葬ヲナセシ無者籍ナルモノ其生産地判明ナル上ハ其費用ハ家元又ハ生産地々方稅ノ支辨ニ屬スルヲ以テ成規ニ據リ其地「戸長」ハ請求スヘシ

第十二條 行路病人ヲ救護スル場合ニ於テハ「戸長」ハ其住所姓名其他ノ要件ヲ聞糺シ尙モ原籍調査上ノ端緒ト認ムル條件ハ細大トナク之ヲ記載シ本籍「戸長」ニ通報スヘシ又其通報ヲ受ケタル「戸長」ニ於テハ戸籍ノ有無ニ拘ハラズ似寄ノモノハ普ク之ヲ取調詳細ニ其顛末ヲ返報スヘシ漫ニ其在籍者ニアラサル等ノ故ヲ以テ本籍不詳者ノ取扱ヲナスヘカラス

第一號

身上調書

何府縣何國何(郡區)何(町村)何番(戶地)字

族籍職業何某幾男女

何 / 誰

但寄留所ナレハ其寄留地ノ縣國  
郡町村番地字等ヲ併記スヘシ

- 一 生年月日又ハ年齢
- 一 村内呼ビ名
- 一 改姓名セシトアレハ其舊姓名
- 一 養子女或ハ他ノ附籍等ナレハ其實家ノ國郡町村番戶地字姓名等
- 一 生國發途ノ原由及年月日又ハ所向
- 一 祖父母兄弟姉妹等アレハ同居別居ヲ區別シ其國郡町村番地字姓名等  
但親戚又ハ隣保ト雖モ原籍取調ニ必要ト認ムルモノハ總テ付記スヘシ

右之通申立候也

年月日

何 某 印

第二號 (會計兩年度ニ跨ルルハ年度毎ニ別紙ニ記載スヘシ)

行旅死亡人假埋葬(病人救護)諸費明細書

一金何程 本籍不詳(男女)何人又ハ(何郡何町村何某)分

内譯

金何程 藥 價

但何月何日ヨリ何月何日マテ何日分(又ハ何貼)一日(又ハ一貼)ニ付金何程

金何程 賄 料

但何月何日ヨリ何月何日マテ何日(又ハ何度)一日(又ハ一度)ニ付何程

- 金何程 看護人賃
- 但一人何月何日ヨリ何月何日マテ何日一日金何程 埋葬人夫賃
- 金何程 但一人ニ付金何程
- 金何程 小屋掛料
- 金何程 何 々
- (遺物品アリ公賣ニ付セシ場合ハ左ノ如ク併記スヘシ)
- 一金何程 遺金及遺物公賣代金
- 内譯
- 金何程 何 々
- 金何程 何 々
- 差引金何程 不足(或ハ過)

右之通相違無之候也

年月日

何(町村)「戸長」

姓 名 印

第三號

身元調書

何郡何(町村)族籍職業

一 建物何坪  
 姓名  
 本人所有(又ハ借宅)

二 此時價(借家賃)何程  
 金額債主ノ姓名ヲ付記スヘシ

一 宅地何坪  
 本人所有(又ハ借地)

一 此時價(借地料)何程  
 (但質入書入ニ屬スルモノハ前項ニ同シ)

一 動産不動産ノ數量價格及受作地ノ地種反別  
 (但質入書入ニ屬スルモノハ前項ニ同シ)

一 平素生計ノ景况  
 (但公費又ハ其他ノ救助ヲ受タルヲアルホハ其詳細ヲ記載スヘシ)

一 國稅地方稅町村費等ノ納否

◎訓第八〇號 (明治二十三年三月五日)

郡役所 市役所

明治十五年第五十號公布以前ニ係ル宿村遞送費償還方是迄當廳ニ於テ取扱來候處今般勅令第二號ヲ以テ保管金ノ件ニ關シ公布有之候ニ付テハ自今該金償却ニ係ル事項ハ原籍郡市役所又ハ繰替地郡市役所ニ於テ之レヲ取扱フ可シ右訓令ス

愛媛縣令規類纂下卷終

明治二十九年五月十八日印刷  
 明治二十九年六月廿一日發行

上中下  
 三卷定價金四圓

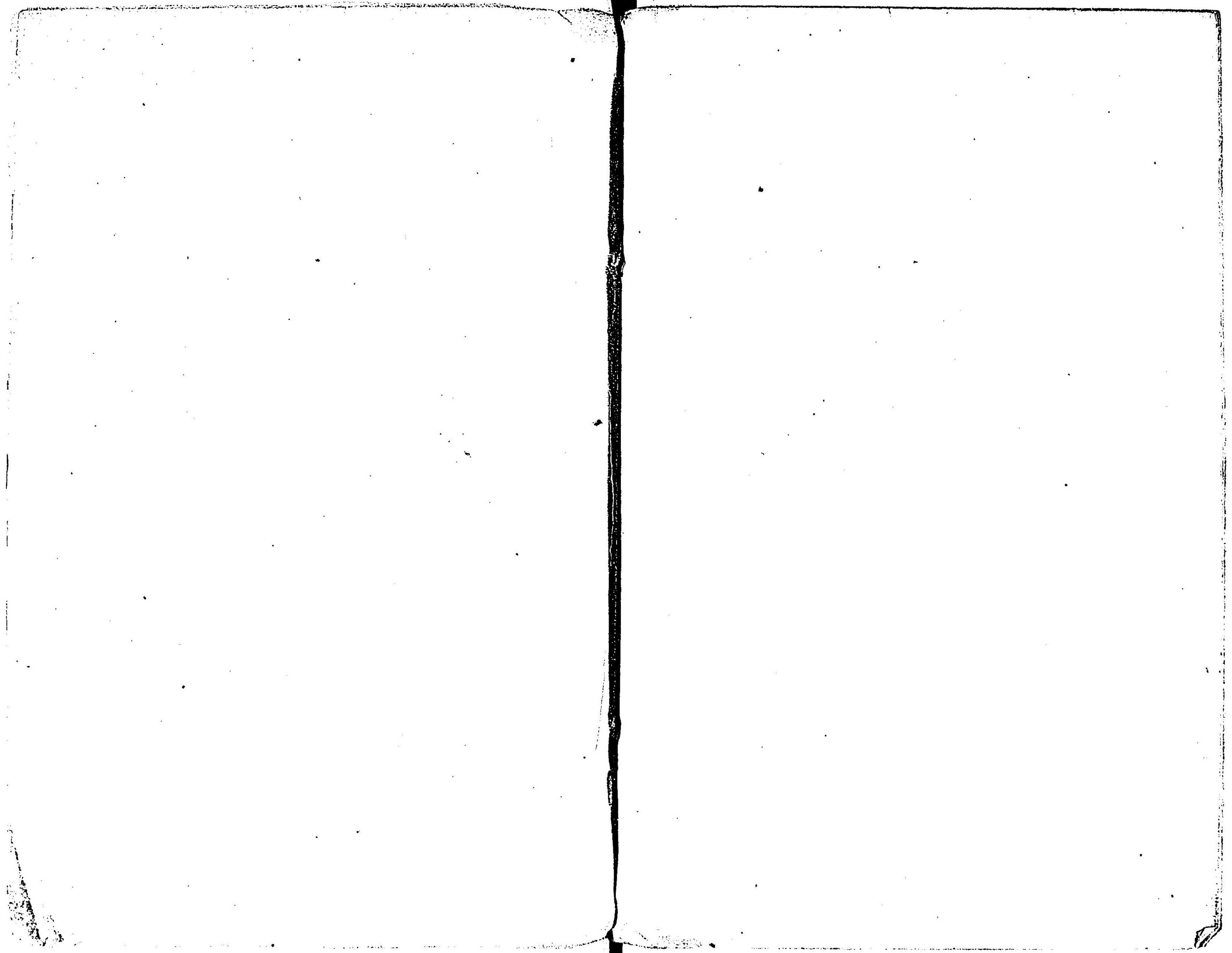
愛媛縣內務部第一課

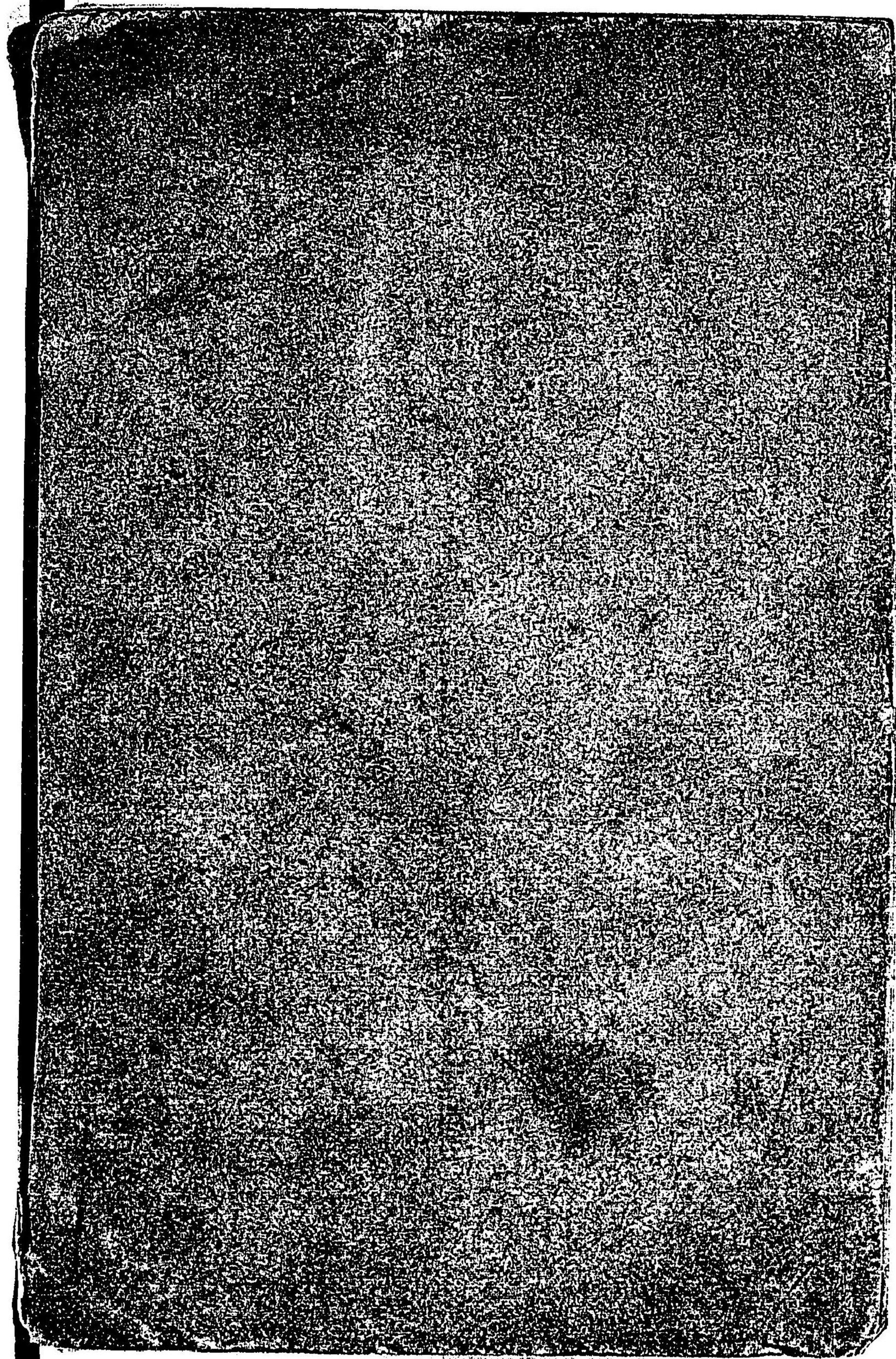
印刷者兼發行者 山本盛信

愛媛縣松山市大字椀町拾壹番戶

印刷所 龍雲舍々主 赤川孫兵衛

大阪市東區高麗橋通二丁目六拾七番屋敷







愛媛縣令規類纂

下卷

031195-003-4

CZ-1113-99-010

愛媛縣令規類纂

愛媛縣內務部

M29-34

BBD-0158

